

埼玉大学紀要

埼玉大学

2011.17

学総目

(教育学部)

第 57 卷 第 2 号

目 次

教育科学

- 教員養成大学・学部における絵画教育内容の構造化についての研究 II
 —大学教員へのアンケート結果の分析と考察—…………… 小澤基弘 1
- 日本柔道を取り入れたウイグル式レスリングの統一ルール作り
 …………… ジュルエット・アブドルスリ・野瀬清喜 17
- 女子中学生の疾走能力に関する縦断的分析
 …………… 有川秀之・太田 涼・石川泰成・椿 智絵・八坂和典・柳田 勇 27
- 箸の持ち方と食生活との関連
 —小学校低学年における調査より—…………… 河村美穂・高橋 愛 37
- 英語運用能力向上のために—産学共同研究の結果から—…………… 宇田和子 47
- 教育会と教員組合—教育ガバナンス論の視点から—…………… 森川輝紀 57
- スペインの道德教育における「宗教」教科の位置づけ
 —LOCE 法に基づく中学校学習指導要領を中心に—…………… 村越純子 73
- タイと日本における第 2 言語としての英語教育に関する研究
 …………… ソッサイ カンラット・野村泰朗 91
- 虫との関わりが幼児の社会性の発達に与える効果について…………… 山下久美・首藤敏元 105
- 子どもの社会的行動における親の社会的情報処理…………… 大池明日美・首藤敏元 123
- 重篤な頭部(脳)外傷児における高次脳機能障害の回復過程について
 —7年間の縦断的検討—…………… 小林寛子・山口友美・靱負正雄・下平雅之・小林久男 133

人文・社会科学

- 新概念 日本語教学法 第三部(1)…………… 竹長吉正 145
- 昭和初期における洋楽の普及と創造—音楽雑誌の記事分析を通して—
 …………… 神月朋子 157
- 英作文を通して見た中学生の英語の発達
 …………… 及川 賢・三富美悠紀・新井智久・圓井あゆ・横須賀功 171

2008

埼玉大学教育学部

根源的で多元的な民主主義の地平(1) —シャンタル・ムフの理論的節合—

..... 岩川直樹 183

近代移行期における厚地綿布の品質と価格..... 田村 均 197

数学・自然科学

移入超過程に関する重み付き期待値の上方評価の振舞い..... 道工 勇 211

C_f -空間に対する次元減少写像定理..... 木村 孝・菰田智恵子 225

ロボットコンテストの課題とこれからの在り方..... 吉田康人・山本利一 231

Journal of Saitama University
(Faculty of Education)
Vol. 57, No. 2 (2008)

— Contents —

Science of Education

- The study on the structure of the contents of painting education in the Faculty of Education II
— The analysis and consideration according to the results of the survey to
college painting teachers — Motohiro KOZAWA 1
- A study of adopting the rules of Uighur Wrestling based on the model of Japanese Judo
..... Julaiti ABUDUROUSULI, Seiki NOSE 17
- A longitudinal study on development of sprinting performance for junior high school girls
..... Hideyuki ARIKAWA, Ryo OHTA, Yasunari ISHIKAWA, Tomoe TSUBAKI,
Kazunori YASAKA, Isamu YANAGIDA 27
- A research of the relationship between using chopsticks and the eating of foods in daily life
..... Miho KAWAMURA, Ai TAKAHASHI 37
- How to improve English proficiency: Proposals based on a joint research Kazuko UDA 47
- The educational association and the teacher's union Terumichi MORIKAWA 57
- “Religion” as a subject of moral education in Spain
—A study of the junior high school curriculum based on LOCE— Junko MURAKOSHI 73
- The analysis of English teaching methods as the second language in Thailand and Japan
..... Sodsai KHANARAT, Tairo NOMURA 91
- Effect of children's relations with insects on their social development
..... Kumi YAMASHITA, Toshimoto SHUTO 105
- Parents' moral reasoning on child's social deviations:
Integrating social information processing and moral domain models
..... Asumi OIKE, Toshimoto SHUTO 123
- Study on the process of recovery from higher brain dysfunctions
in a child with severe head injury —A follow-up study for seven years—
..... Hiroko KOBAYASHI, Tomomi YAMAGUCHI, Masao YUKIE,
Masayuki SHIMOHIRA and Hisao KOBAYASHI 133

The Humanities and Social Sciences

- Foundation of Japanese language teaching, Part III (1) Yoshimasa TAKENAGA 145

continued on inside back cover

A study of the spread and creation of the Western Music in the early Showa period: Through the analysis of the musical periodicals	Tomoko KOZUKI	157
Developmental patterns of English proficiency in the case of Japanese junior high school students — Seen through their compositions	Ken OIKAWA, Miyuki MITOMI, Tomohisa ARAI, Ayu MARUI, Isao TOKOSUKA	171
Radical and plural democracy: Disarticulation and rearticulation of Chantal Mauffe	Naoki IWAKAWA	183
A study on the traditional cotton weavings in Japan from Bakumatu period to Meiji era	Hitoshi TAMURA	197

Mathematics and Natural Sciences

Comportements de la borne supérieure sur l'espérance au poids des super-processus avec immigration	Isamu DÔKU	211
A dimension-lowering mappings theorem for C_f -spaces	Takashi KIMURA, Chieko KOMODA	225
The problem and ideal method in the future of the robot contest	Yasuto YOSHIDA, Toshikazu YAMAMOTO	231

埼玉大学紀要（教育学部）投稿規定

（名称及び発行）

- 第1条 埼玉大学紀要（教育学部）と称し、英語名をJournal of Saitama University (Faculty of Education) とする。
- 2 埼玉大学紀要（教育学部）（以下「紀要」と言う）は、埼玉大学教育学部教員（以下「本学部教員」と言う）等の学術研究成果を発表することを目的とし、年2回発行して2号分を以て1巻とする。

（投稿資格）

- 第2条 紀要へ投稿できる者は、原則として本学部教員とする。
- 2 共著の場合は、本学部教員が責任ある立場から研究を行い、執筆したものに限り。
- 3 教育学部研究支援委員会（以下「研究支援委員会」と言う）が必要と認めた場合は、本学部教員以外の投稿を許可することができる。

（論文の掲載の可否）

- 第3条 投稿原稿の内容は未発表のものに限る。
- 2 掲載の可否は、研究支援委員会が決定する。

（経費）

- 第4条 紀要出版に要する経費は、原則として研究支援委員会経費とする。
- 2 カラー印刷など特殊な印刷を要する場合、その印刷経費は原則として投稿者負担とする。
- 3 別刷の経費は投稿者負担とする。

（著作権等）

- 第5条 掲載論文に関する著作権は投稿者（著者）に帰属する。
- 2 本文の一部や図・表・写真等を他の著作物から転載したり、オリジナルを掲載したりする場合、著作権に関わる問題や法令上の手続きは、投稿者があらかじめ処理するものとする。それらについて問題が生じた場合は、その責は投稿者が負うものとする。
- 3 投稿者は、埼玉大学に対して、当該論文等の印刷、電子的記録媒体（CD-ROM、DVD-ROM等）への変換・複製、学内外への配布を原則として許諾するものとする。
- 4 投稿者は、埼玉大学及び埼玉大学が委託する機関等に対して、当該論文等の送信可能化・コンピュータネットワーク等での学内外への公開を原則として許諾するものとする。

附則

この規定は、平成18年6月30日から施行する。

埼玉大学紀要（教育学部）執筆規定

埼玉大学教育学部研究支援委員会

投稿者は「埼玉大学紀要（教育学部）投稿規定」およびこの「執筆規定」の各項に従い、原稿を作成されたい。

〔原稿の書式・執筆手段〕

原稿は、「和文横書き」「和文縦書き」「欧文横書き」のいずれでもよい。

原稿はワープロソフト等で作成し、A4判用紙（縦位置）を用い、40字×36行で用紙の片面のみにプリントアウトする（フォントサイズは10.5～11 pt）。和文原稿の場合、本文中の漢字・かな文字・記号は全角、数字・アルファベットは半角とする。なお、欧文原稿の場合はすべて半角文字で入力する。

〔原稿の長さ〕

1編の論文の長さは図表、Summary等を含めて刷り上がり16ページ以内とする。制限ページ数を超過した場合には、1印刷ページあたり ¥5,000 を投稿者が負担する。

[原稿の構成]

原稿は、表題、著者名、所属または住所、キーワード（5語以内）、本文、摘要等、文献の順にする。和文原稿の場合、最後に欧文タイトル、欧文著者名、summaryを加える。概要Abstractを入れる場合は、著者名とキーワードの間になる。

「注（註）」は本文の末尾（「文献」の前）に付ける。注は論文全体の通し番号とし、章ごとの番号付けとしない。書式は日本語・外国語を問わず横書きの場合、1) 2) 3) …のように、縦書きの場合、①②③…のようにする。なお、脚注は第1ページの所属（住所）だけ付けることができる。

文献の並べ方は、参考順・著者のアルファベット順など、何らかの明瞭な基準によるものとする。

[図表]

図（写真を含む）はすべて挿図 figure とし、そのまま印刷できるよう上質の白紙、方眼紙、トレーシングペーパー等に鮮明に描く。図は1枚ごとに厚手の台紙に貼って提出する。

表は別紙に印刷し、原稿末に付ける。それと同時に、FD等に保存する。作成には表計算ソフト（エクセルなど）を用いるのが好ましい。

図表類は、印刷ページ幅・段幅等を考慮して作成すること。

図表・写真類の挿入希望箇所は、本文原稿の欄外にわかりやすく鉛筆で指定すること。

図表のキャプション（説明）は別紙に印刷し、原稿末につける。原稿の本文中に図表をはめ込むことは厳禁。

[数式と活字型の指定]

数式は2行分以上の行を取り、文字の種類・大小・数字を明確に区別できるように記入する。特殊な活字（ゴシック体・イタリック体・スモールキャピタル・ギリシア文字・ロシア文字等）の指定は、指示を鉛筆書きする。その際、ゴシック体には波下線、イタリック体には下線、スモールキャピタルには二重下線を朱書きで指示をする。

[その他]

投稿者は、原稿のプリントアウトしたもの2通の他、原稿のファイル（文書ファイルおよびテキストファイル）を保存したFD、CD-R（W）、DVD-R（W）のいずれかを提出しなければならない。

投稿者は完成原稿を提出しなければならない。著者校正は初校のみで、その場合、誤植の訂正を超える大幅訂正や追加は許されない。大幅な訂正・追加をした場合には超過料金を徴収することになるが、場合によっては当該論文の掲載が次号となる。

(1987年9月29日 作成)

(1998年11月6日一次改訂)

(2006年6月30日二次改訂)

埼玉大学紀要教育学部 第57巻第2号（2008）研究支援委員会

鈴木道也（社会科教育講座）・細川江利子（保健体育講座）

重川純子（家政教育講座）・島田玲子（家政教育講座）

牛江一裕（英語教育講座）・澤崎俊之（教育心理カウンセリング講座）

平成20年9月24日 印刷
平成20年9月30日 発行

編集兼 埼玉大学教育学部
発行 さいたま市桜区下大久保255番地
電話 048-858-3142

印刷 明誠企画株式会社
武蔵村山市榎2-25-5
電話 042-567-6233（代）

埼玉大学紀要（教育学部）掲載申込書

平成 年 月 日

教育学部研究支援委員会 御中

申請責任者 所属
 （本学部教員） 氏名 印

埼玉大学紀要（教育学部）投稿規定に基づき、下記の通り埼玉大学紀要（教育学部）への掲載を申請します。投稿者全員は、埼玉大学に対し、投稿論文等の印刷・電子的記録媒体への変換・複製、学内外への配布、コンピュータネットワーク等を通しての学内外への公開を許諾します。

記

題 目	和文	
	欧文	
投稿者 氏 名 所 属 (全員分)	和文	
	欧文	
別刷希望部数	部 （10部単位・別刷に要する経費は自己負担）	
特殊印刷等 (内容を記載)	<input type="checkbox"/> あり () <input type="checkbox"/> なし (特殊印刷等に要する経費は自己負担)	
掲載希望分野	1. 教育科学 2. 人文・社会科学 3. 数学・自然科学	
原稿媒体	媒体	1. FD・打ち出し原稿 2. CD-R(W)・打ち出し原稿 3. DVD-R(W)・打ち出し原稿 4. その他 ()
	OS	1. Windows 2. Mac 3. その他 ()
	文書形式	1. WORD 2. 一太郎 3. その他 () いずれの場合もテキストファイルを同一媒体中に保存し提出すること

[チェック]

- 著作権に関わる問題は処理済みである。
- 「埼玉大学紀要（教育学部）執筆規定」に従って執筆した。
- 本文の最初の頁に著者全員の「所属」を記載した。「題目」と「投稿者氏名」の和文と欧文を本文最終頁にも記載した。